

# アーモンドアイ

非凡な後半要素の高さを持ったアーモンドアイ。

後半要素の高さはロンスパ適正だけに留まらず、ギアチェンジ性能にしてもトップスピードにしても、現役で屈指の能力を持っていると言えるでしょう。

桜花賞では、最後方付近から上り 2 位よりも 1 秒早い上りで圧巻の差し切り。ここでも 3F 目一杯脚を使い切り、ロンスパ適正も同時に見せました。

オークスでは、スローペースからラスト 2F で急激なギアチェンジにも対応する、機動力も見せての差し切り勝利。ここでは前半要素も詰めてきました。

ジャパン C でも前半からポジションを主張し、そこからラスト 5F で早くなったレースでラスト 3F 最速の完全にロンスパ適正を中心とした、後半要素の総合力を問われた中で、他馬を寄せ付けない圧勝。

ロンスパ適正はありますし、距離が延びれば前半要素も通用してくるので中長距離が特に向くイメージ。裏を返せば距離短縮で不安が出るとも言えますが、それが大きくマイナスになる様な短縮をするレベルの馬ではないのが、馬券購入者側としては扱いづらい所。

安田記念の敗因がまさしくこれで、前半要素の分で後手に回ってしまい届かずの 3 着と明らかに距離による敗戦を喫しました。

この馬に勝てるタイプは現実的な範囲では前半要素に長けた超一線級の馬が自らの競馬に徹すれば、何とかなる可能性はあるという感じでしょう。

## ポイント

- ・現状不安要素と言える点はなし
- ・この馬をマイナス評価できるかどうかではなく、これより妙味のある馬を探すのがいい